令和2年2月28日

浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果(速報・第108)

「浜岡原子力発電所の安全確保等に関する協定(以下「4市協定」という。)」に基づき、発電所から半径 10km 圏内で実施している発電所周辺の環境放射能調査についてお知らせします。

令和2年1月31日付けの前回の報告以降、下記の測定項目はすべて過去の変動幅(特に断りのない限り、東京電力㈱福島第一原子力発電所の事故(以下「東電事故」という。)発生前の過去10年の最小値と最大値の範囲)の範囲内でした。

なお、東電事故以降平成30年度までの間の最小値と最大値の幅である「震災後の変動幅」を併記した項目があります。

記

#### 1 測定結果 (表中の括弧内の数値は検出下限値を表す)

#### (1) 浮遊塵

表 1 (採取期間:  $1/6\sim2/2$ )

単位:mBq/m³

採取地点	測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be(参考)
御前崎市	監視センター	検出されず	検出されず	$4.4\pm0.10$
白 砂		(0.011)	(0.010)	(0.30)
御前崎市	中部電力㈱	検出されず	検出されず	$3.26 \pm 0.07$
中町		(0.0087)	(0.0070)	(0.20)
御前崎市	監視センター	検出されず	検出されず	$4.61\pm0.10$
平場		(0.0094)	(0.0097)	(0.29)
御前崎市	中部電力㈱	検出されず	検出されず	$3.25 \pm 0.06$
白羽小学校		(0.0071)	(0.0071)	(0.19)
牧之原市	中部電力㈱	検出されず	検出されず	$3.75\pm0.08$
地頭方小学校		(0.0097)	(0.0095)	(0.24)
過去の変動幅**2		検出されず	検出されず	
震災後の変動幅		検出されず~	検出されず~	(自然放射性核種)
		7. 78	8. 21	

※2 平成14~22年度の測定値の最小~最大の範囲です。

## (2)土壤(御前崎市:1/16採取、牧之原市:1/22採取、0~5cm)

表 2 単位: Bq/kg 乾土

採取地点	測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>40</sup> K
御前崎市 下朝比奈	監視センター	検出されず	$8.4 \pm 0.4$	$590 \pm 10$
		(0.78)	(1.2)	(33)
	中部電力㈱	検出されず	$8.3 \pm 0.4$	$530 \pm 10$
		(0.70)	(1.2)	(30)
	監視センター	検出されず	$3.8 \pm 0.3$	$534 \pm 10$
御前崎市		(0.69)	(0.86)	(30)
新神子	中部電力㈱	検出されず	$3.4 \pm 0.3$	$520 \pm 10$
		(0.71)	(1.0)	(29)
	監視センター	検出されず	$8.4 \pm 0.4$	$710 \pm 10$
牧之原市		(0.92)	(1.2)	(36)
笠 名	中部電力㈱	検出されず	7.4 $\pm$ 0.4	$640 \pm 10$
		(0.77)	(1.2)	(33)
平常の変動幅		検出されず	$1.7 \sim 10.0$	
震災後の変動幅		検出されず~	3.3~28.4	(自然放射性核種)
		21.6		

## (3) 原乳 (菊川市: 1/16 採取、掛川市: 1/8 採取)

表 3 単位:Bq/kg 生

採取地点	測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>40</sup> K
菊川市	監視センター	検出されず	$0.017 \pm 0.005$	$48.0\pm0.3$
		(0.012)	(0.014)	(1.0)
嶺田	中部電力㈱	検出されず	検出されず	$45.6 \pm 0.3$
		(0.014)	(0.015)	(1.0)
掛川市下土方	監視センター	検出されず	検出されず	$46.8 \pm 0.4$
		(0.013)	(0.013)	(1.1)
	中部電力㈱	検出されず	検出されず	$45.5 \pm 0.3$
		(0.012)	(0.012)	(0.95)
過去の変動幅**		検出されず	検出されず~	
			0.029	(自然放射性核種)
震災後の変動幅		検出されず~	検出されず~	(口 派从对] 压伤 俚/
		0.43	0.45	

<sup>※</sup> 御前崎市三間 (平成 13~14 年度第 3 四半期)、御前崎市名波 (平成 14 年度第 4 四半期~20 年度)、宮木ヶ谷 (平成 21~22 年度)、及び、掛川市下土方 (平成 16~22 年度)の測定値の最小~最大の範囲です。

# (4)海岸砂(放水口付近4地点、1/10採取)

表 4

単位: Bq/kg 乾土

採取場所	測定機関	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>40</sup> K
放水口付近 (4地点)	監視センター	検出されず	検出されず	$267 \sim 394$
		$(0.56 \sim 0.60)$	$(0.59 \sim 0.63)$	$(21\sim 26)$
	中部電力㈱	検出されず	検出されず	$259\sim356$
		$(0.42 \sim 0.55)$	$(0.43 \sim 0.56)$	$(17\sim 20)$
過去の変動幅**		検出されず	検出されず	
震災後の変動幅		検出されず	検出されず	(自然放射性核種)
			$\sim$ 0.94	

※ 1・2号機放水口付近、3号機放水口付近及び4号機放水口付近(平成13~22年度)、並びに5号機放水口付近(平成15年~22年度)の測定値の 最小~最大の範囲です。

## <参考1>

原子力規制庁委託の環境放射能水準調査

(1) 降下物

表 5 (採取期間: 1/6~2/3)

単位:Bq/m<sup>2</sup>

採取場所	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>40</sup> K	<sup>7</sup> Be(参考)
牧之原市坂口	検出されず	検出されず	検出されず	$160 \pm 0.87$
	(0.052)	(0.044)	(1.2)	(2.6)